

グランドカンファレンス 抄録

【開催日時 (確定)】 2023 年 9 月 7 日

【演題タイトル】 AI が切り開く未来の外科手術

【演者名・所属】 ○小嶋一幸、中島政信、中川正敏、森田信司、
獨協医科大学上部消化管外科学、大学院腫瘍外科学

【抄録本文】

消化管がんにおいて近年の進歩は、ロボット手術を始めとした低侵襲手術と免疫療法・分子標的治療薬を含めた薬物療法の進歩に伴う治療成績の向上に集約される。技術革新とともに医療の様々な分野に AI の活用が広がっている。総務省の戦略的イノベーション創造プログラムの中では、AI アバターによる問診システム (ワクチン接種説明・CT 造影検査説明)、AI による音声情報の文章化を看護記録・診療録の記載に応用、AI による内視鏡画像診断、病理診断、胸部 X-P のスクリーニング診断補助システムなどが挙げられており、外科手術における応用が期待される。AI を搭載することでロボット支援手術は、外科医の操作を補完する役割を果たし、外科医はより高精度で安全に手術を行うことができる。AI の進歩と医療技術の発展により、より効率的で精緻な手術が可能となることが期待される。胃癌を例に外科治療の現状と AI が切り開く未来の手術の可能性を考えてみたい。